

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成16年12月2日(2004.12.2)

【公表番号】特表2000-507413(P2000-507413A)

【公表日】平成12年6月13日(2000.6.13)

【出願番号】特願平9-533765

【国際特許分類第7版】

H 04 N 7/24

G 06 T 9/00

H 04 N 1/41

【F I】

H 04 N 7/13 Z

H 04 N 1/41 Z

G 06 F 15/66 3 3 0 Q

【手続補正書】

【提出日】平成16年3月22日(2004.3.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

手 続 補 正 書

平成16年 3月22日

特許庁長官 今井 康夫 殿

1. 事件の表示

平成 9年 特許願 第533765号



2. 補正をする者

名 称 マイクロソフト コーポレイション

3. 代 理 人

住 所 東京都千代田区霞が関3丁目2番4号

霞山ビルディング7階 電話(3581)2241番 (代表)

氏 名 (7205)弁理士 杉 村 興 作



4. 補正対象書類名 明細書、請求の範囲、図面

5. 補正対象項目名 明細書、請求の範囲、図11F

6. 補正の内容 別紙の通り

1. 請求の範囲を下記の通りに補正する。

「

請　求　の　範　囲

1. コンピュータシステムにおいて、ビデオ画像シーケンスに関する一般的物体に関するバイナリ形状データを符号化するコンピュータ実行可能な方法において、

前記一般的物体の複数の構成要素を、前記バイナリ形状データを階層における複数の層に分解することによって連続的に識別し、前記複数の層の各々が前記複数の構成要素の1つ以上の構成要素を含み、前記複数の層の第1層が前記構成要素の1つ以上の第1層構成要素を含み、前記複数の層の第2層が前記構成要素の1つ以上の第2層構成要素を含むことを特徴とする方法。

2. 請求の範囲1に記載の方法において、前記連続的に識別することが、

前記1つ以上の第1層構成要素を識別することと、

前記識別された1つ以上の第1層構成要素と、前記バイナリ形状データにおける対応する構成要素との間の差を計算することとを含むことを特徴とする方法。

3. 請求の範囲1に記載の方法において、

前記複数の構成要素に関する輪郭を符号化することをさらに含むことを特徴とする方法。

4. 請求の範囲1に記載の方法において、前記複数の構成要素が、前記複数の層の1つの層において分離された複数の構成要素を含むことを特徴とする方法。

5. 請求の範囲1に記載の方法において、前記バイナリ形状データが、前記ビデオ画像シーケンスの画像における境界線を示すバイナリ値を含むことを特徴とする方法。

6. 請求の範囲1に記載の方法において、前記バイナリ形状データが

、前記ビデオ画像シーケンスの画像に関するアルファチャネルにおける境界線を示すバイナリ値を含み、前記アルファチャネルデータが、前記画像に関する多ビット透明値を含むことを特徴とする方法。

7. 請求の範囲 6 に記載の方法において、前記アルファチャネルデータをしきい値フィルタ処理し、前記バイナリ形状データを決定することをさらに含むことを特徴とする方法。

8. 請求の範囲 6 に記載の方法において、前記アルファチャネルデータを符号化することをさらに含むことを特徴とする方法。

9. 請求の範囲 8 に記載の方法において、前記アルファチャネルデータを符号化する前に、前記アルファチャネルデータにおいて前圧縮外挿を行うことを含むことを特徴とする方法。

10. ビデオ符号化中に請求項 1 の方法を前記コンピュータシステムに実行させるコンピュータ実行可能命令を格納したコンピュータ読み出し可能媒体。

11. コンピュータシステムにおいて、ビデオ画像シーケンスに関する一般的物体に関するバイナリ形状データを符号化するコンピュータ実現可能な方法において、

前記バイナリ形状データを、前記ビデオ画像シーケンスの画像に関するアルファチャネルに基づいて計算することであって、前記バイナリ形状データが、前記アルファチャネルデータにおける境界線を示すバイナリ値を含み、前記アルファチャネルデータが、前記画像に関する多ビット透明値を含むことと、

前記バイナリ形状データを符号化することと、

前記アルファチャネルデータを符号化することとを特徴とする方法

。

12. 請求項 11 に記載の方法において、前記バイナリ形状データを計算することが、

前記アルファチャネルデータをしきい値フィルタ処理することをさらに含むことを特徴とする方法。

13. 請求項11に記載の方法において、

前記アルファチャネルデータを符号化する前に、前記アルファチャネルデータにおいて前圧縮外挿を行うことを含むことを特徴とする方法。

14. 請求項11に記載の方法において、前記バイナリ形状データを符号化することが、

前記一般的物体の複数の構成要素を、前記バイナリ形状データを階層における複数の層において分解することによって連続的に識別することを含み、前記複数の層の各々が前記複数の構成要素の1つ以上の構成要素を含み、前記複数の層の第1層が前記複数の構成要素の1つ以上の第1層構成要素を含み、前記複数の層の第2層が前記複数の構成要素の1つ以上の第2層構成要素を含むことを特徴とする方法。

15. ビデオ符号化中に請求項11の方法を前記コンピュータシステムに実行させるコンピュータ実行可能命令を格納したコンピュータ読み出し可能媒体。」

2. 明細書第17頁6~7行の「機能ブロック102」を「機能ブロック112」に補正する。

3. 同第31頁9行の「 x_i と y_i 」を「 x'_i と y'_i 」に補正する。

4. 同第32頁9行~27行を下記の通りに補正する。

$$\begin{bmatrix} X_0 & Y_0 & 1 \\ X_1 & Y_1 & 1 \\ X_2 & Y_2 & 1 \\ \vdots & \vdots & \vdots \\ \vdots & \vdots & \vdots \\ X_{n-1} & Y_{n-1} & 1 \end{bmatrix} \begin{bmatrix} a \\ b \\ c \end{bmatrix} = \begin{bmatrix} X'_0 \\ X'_1 \\ \vdots \\ \vdots \\ X'_{n-1} \end{bmatrix}$$

$$\begin{bmatrix} X_0 & Y_0 & 1 \\ X_1 & Y_1 & 1 \\ X_2 & Y_2 & 1 \\ \vdots & \vdots & \vdots \\ \vdots & \vdots & \vdots \\ X_{n-1} & Y_{n-1} & 1 \end{bmatrix} \begin{bmatrix} d \\ e \\ f \end{bmatrix} = \begin{bmatrix} Y'_0 \\ Y'_1 \\ \vdots \\ \vdots \\ Y'_{n-1} \end{bmatrix}$$

5. 同第50頁27行目の「X₁およびX₂」を「X¹およびX²」に補正する。
6. 同第51頁13行目の「826A～826C」を「826a～826c」に補正する。

INITIAL BLOCK SCANNING OBJECT (Step 2Q+5)
302(14) 302(15) 302(16) 302(17) 302(18)

01	05	03	04		06	07	08	09	00	...
12	16	14	15		17	18	19	10	11	...
23F	27G	25H	26I	J	28	29	20	21	22	...
34K	38L	36M	37N	O	39	30	31	32	33	...
45P	49Q	47R	48S	T	40	41	42	43	44	...
56U	50V	58W	59X	Y	51	52	53	54	55	...
67A'	61B'	69C'	60D'	E'	62	63	64	65	66	...
78	72	70	71		73	74	75	76	77	...
89	83	81	82		84	85	86	87	88	...
90	94	92	93		95	96	97	98	99	...

Fig.11F